

耳鼻咽喉科・頭頸部外科



1. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の紹介

耳鼻咽喉科の専門医には、多くの対象疾患に適切に対応する能力が求められます。当教室は、世界初の臨床応用を行った人工中耳、全国的にも症例の多い人工内耳、顔面神経麻痺や音声・嚥下障害、頭頸部癌に対する治療など、高い専門性・先端の技術をもって患者さんに高い QOL をもたらしめています。こうした感覚器とコミュニケーションの医学をベースと

した新たな感覚機能外科学を臨床展開していく当科のコンセプトは、国内外で高い評価を受けています。また、最先端の診療のみならず、日常臨床において高頻度に遭遇する疾患の治療も積極的に行っており、最適な専門研修の環境が整っています。

2. プログラムの目的と特徴



本プログラムは卒後臨床研修終了医に対し、日本耳鼻咽喉科学会認定専門医の育成を目的とします。原則的に、卒後3年目は大学病院にて、複数の指導医の下で入院患者を受け持ち、耳鼻咽喉科特有の診察法や処置、手術、術後管理、終末期医療を経験してもらいます。卒後4年目からは、手術症例の多い研修連携施設にて外来、手術、救急医療などの耳鼻咽喉科全般の知識、経験を獲得してもらいます。卒後6年目は、愛媛大学大学院へ入学し、臨床業務を行いながら基礎・臨床研究を行うか、研修連携施設で研修を行います。

多彩な疾患を扱う研修連携施設が多く、耳科手術の件数は全国でもトップレベルです。各地のがんセンターで経験を積んだ指導医も多く、頭頸部手術の習熟にも最適な環境です。また、基礎・臨床研究も積極的に行っています。

3. 経験目標

手術執刀	手術助手
扁桃摘出術 10例以上	耳科手術：鼓室形成術など 20例以上
鼓膜チューブ挿入術 10例以上	鼻科手術：ESS、頭蓋底手術など 40例以上
喉頭微細手術 10例以上	頭頸部癌手術 30例以上
内視鏡下鼻副鼻腔手術 20例以上	嚥下機能改善手術 5例以上
気管切開術 5例以上	など
頸部良性腫瘍手術 10例以上	
など	

4年間の研修で、日本耳鼻咽喉科学会が定めた研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験します。愛媛大学医学部附属病院および地域の中核病院を担う病院にて3年以上の研修を行います。これらの病院は手術件数も多く、扱う疾患も多彩ですので、症例経験基準の達成は容易です。

4. 指導医と指導体制

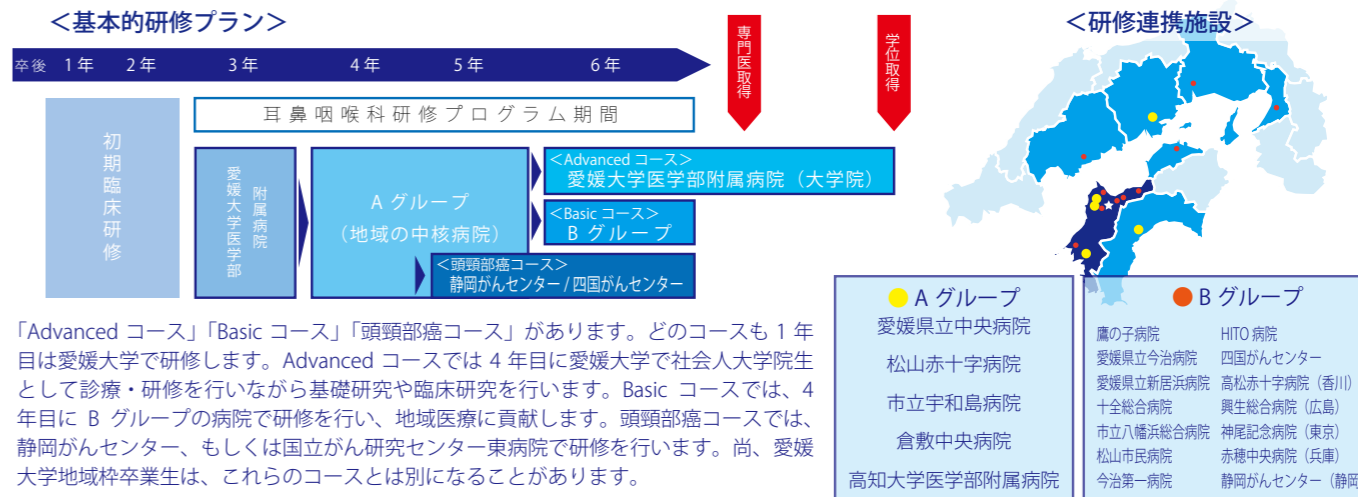
教授	准教授/医局長	講師	助教
羽藤 直人 ・専門分野/耳科、神経耳科 ・留学/スタンフォード大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科は「やりがい」のある分野です。当教室は、皆さんの可能性を最大限に引き出します。	山田 啓之 ・専門分野/耳科、神経耳科 ・留学/スタンフォード大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の魅力は、診断から治療まで一貫して関わることです。一緒に「治す」意義を体感しましょう。	寺岡 正人 ・専門分野/耳科、頭頸部 ・留学/カロリンスカ研究所	青石 邦秀 ・専門分野/鼻副鼻腔 ・前任地/市立宇和島病院
		田中加緒里 ・専門分野/口腔頭頸、喉頭 ・前任地/鷹の子病院	西原江里子 ・専門分野/耳鼻副鼻腔 ・前任地/県立新居浜病院
		岡田 昌浩 ・専門分野/耳科 ・留学/ハーバード大	佐藤恵里子 ・専門分野/頭頸部癌 ・前任地/国立がんセンター東
		三谷 壮平 ・専門分野/頭頸部癌 ・留学/スタンフォード大	原 和也 ・専門分野/口腔頭頸、喉頭 ・前任地/県立南宇和病院
		木谷 卓史 ・専門分野/頭頸部癌 ・前任地/静岡がんセンター	

5. 研修に関する行事

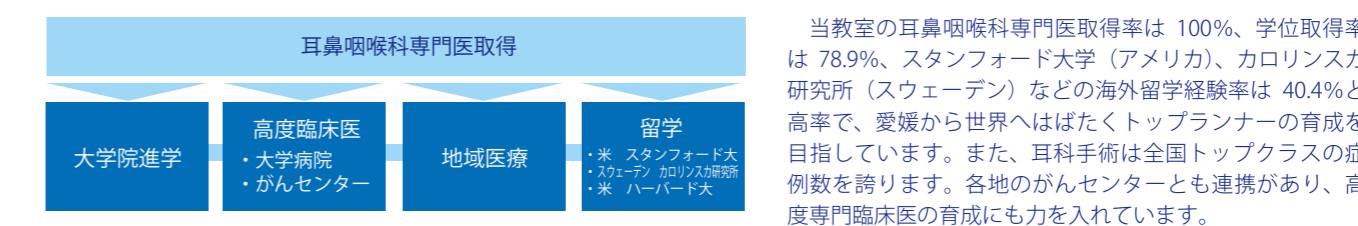
	月	火	水	木	金
AM	外来・病棟業務	手術	外来・病棟業務	外来・病棟業務	手術
PM	手術		病棟回診		

・学会発表：年1回以上
 ・原著論文作成
 ・愛媛 ENT 塾 (若手医師向け勉強会) 月1回開催
 ・医局旅行：年1回

6. 新専門研修プログラム について



7. 専門研修終了後について



8. 専門研修の問い合わせ先

医局長：山田啓之までお気軽にどうぞ！
 医局 HP：<http://www.m.ehim-u.ac.jp/school/ent/>

TEL：089-960-5366 FAX：089-960-5368
 E-mail：jibika@m.ehime-u.ac.jp